

令和2年1月17日（金）
国土交通省関東地方整備局
企 画 部

記者発表資料

令和元年度第4回 関東地方整備局事業評価監視委員会の開催結果について

関東地方整備局では、令和2年1月17日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議結果は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局HP(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) → 社会資本整備 → 関東地方整備局における公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、
都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 企画部 TEL. 048-601-3151（代表） FAX. 048-600-1372
技術企画官 あかしま かずや 赤嶋 和弥（内線3126）、企画課 たどころ もとひろ 課長補佐 田所 百年裕（内線3153）

【道路関係】 道路部 道路計画第一課 建設専門官 ふじひら ただはる 藤平 忠晴（内線4215）

【公園関係】 建政部 都市整備課 建設専門官 せきぐち ひろき 関口 広喜（内線6173）

令和元年度第4回 関東地方整備局事業評価監視委員会
審議結果

1. 日 時 令和2年1月17日 (金) 9:30~
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」

3. 出席者

[委員長]

朝倉 康夫 (東京工業大学環境・社会理工学院教授)

[委員]

上田 裕子 (東京商工会議所地域振興部長)

河野 多美 (株式会社JTBパブリッシングるるふ編集部長)

古関 潤一 (東京大学大学院工学系研究科教授)

田中 規夫 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

手塚 広一郎 (日本大学経済学部教授)

西山 未真 (宇都宮大学農学部農業経済学科准教授)

山崎 誠子 (日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授)

[特別委員] (東日本高速道路(株)事業評価監視委員会委員)

後藤 孝夫 (中央大学 経済学部 准教授)

(敬称略、五十音順)

[関東地方整備局]

局長 石原、副局長 加藤 副局長 岡、総務部長 山本、建政部長 小林、
河川部長 佐藤、道路部長 山本、港湾空港部長 森、営繕部長 光井、
用地部長 高橋 他

[東日本高速道路株式会社]

建設事業本部建設部長 堀、関東支社支社長 良峰、
関東支社建設事業部長 松坂 他

4. 審議結果

(1) 挨拶

関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価

- ・対応方針(原案)の審議(全7件)
- ・事務局が説明した再評価案件7件は、対応方針(原案)の通り了承する。

<評価対象事業>

○再評価（1/2）

事業区分	事業名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果	委員からの主な意見等
道路	一般国道4号 春日部古河バイパス	関東地方整備局	継続	了承	
	一般国道20号 八王子南バイパス	関東地方整備局	継続	了承	
	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（金沢～戸塚）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> ・コストの妥当性を確認するにあたり、他工法との比較や変更経緯を説明してほしい。 ・工事中の環境対策や開通後の地上部の活用などについて、地域住民との対話を引き続き進めてほしい。 ・過去の事業評価監視委員会での付帯意見を今後も継続して十分に尊重するとともに、以下の付帯意見をもって、原案どおり了承とする。 <p>【付帯意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①できる限り早期の完成と供用に努めること。 ②地域住民との十分な対話を基礎に、環境対策や安全対策に積極的に取り組み、現実的な範囲で最善を尽くすこと。 ③引き続きコスト縮減に努めるとともに、今回事業費増となった要因を分析し、今後、コスト管理の徹底に努めること。
	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（横浜湘南道路）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費増となった要因を分析して今後のコスト管理に努めてほしい。 ・他事業を含め、事業費増が見込まれたタイミングで、その内容について説明してほしい。 ・以下の付帯意見をもって、原案どおり了承とする。 <p>【付帯意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①できる限り早期の完成と供用に努めること。 ②引き続きコスト縮減に努めるとともに、今回事業費増となった要因を分析し、今後、コスト管理の徹底に努めること。

<評価対象事業>

○再評価 (2/2)

事業区分	事業名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果	委員からの主な意見等
道路	東関東自動車道水戸線 (潮来～鉾田)	関東地方整備局 東日本高速道路 株式会社	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> ・道路排水の対応方法などは、あらかじめ見込んでおいてほしい。 ・マニュアルでは便益が極めて限定的であるため、今回のようにB/Cに含まれない効果として説明することは今後も重要。 ・高速会社との合併事業のように、有料事業により早く事業が完成する場合にそのメリットをB/Cに反映するよう検討できないか。 ・前回の事業評価監視委員会での付帯意見を今後も継続し、以下の付帯意見をもって、原案どおり了承とする。 <p>【付帯意見】</p> <p>①できる限り早期の完成と供用に努めるとともに、供用後にストック効果がより一層発現されるよう、地元とも連携するよう努めること。</p>
	一般国道 357 号 東京湾岸道路 (東京都区間)	関東地方整備局	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県区間も含めた広域的な効果が期待されることから、東京・神奈川・千葉の広域的なネットワーク機能を有するものとして、一体的な評価を検討すること。
	<p>【道路事業全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費が増額となる要因を分析し、その要因を反映した事業計画について検討してほしい。 				
公園	明治記念大磯邸園整備事業	関東地方整備局	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財としての価値を踏まえた材料の選定や確実な防火対策など必要な整備費用を慎重に積算し、事業を推進してほしい。